

かわのくるまか と や あと 河野車(加登屋)跡

所在地 向新蔵
調査期間 平成12年3月・9～11月
検出遺構 水車小屋跡・水路跡

新橋の下流側右岸にありました。江戸時代の記録にも残る水車です。発見された水車跡は、河野車から加登屋に受け継がれ、昭和16年まで精米に使われていたものです。水路は全て石積で作られ、水輪の回る部分は特に精巧に加工されていました。排水路の下部から、江戸時代の水路も一部見つけることができました。



水車小屋跡

水車小屋の中央を走る水路には切石が積まれ、周囲には川原石が敷かれています。石臼が並んでいた場所が溝状に残り、作業場の位置が分かりました。



水輪部分の切石の加工

水の勢いを高めるため、中央の溝は序々に幅が狭められ、急な勾配がつけられています。外側は水輪の曲線に合わせて丸く削られています。



排水路遠景

水車小屋の周辺部とそれ以外では石の積み方が異なり、導水路の取水口側と排水路は間知石が積まれていました。